

発行日 2025年9月

<https://www.kurume-it.ac.jp/in>

今年の夏は、例年以上の猛暑に見舞われました。そんな中、7月に開催したオープンキャンパス、さらには高大接続といったイベントに多くの生徒の皆さんに参加いただきました。本学に訪れたことで、本学科での学び、環境を感じていただけたかと思っております。ニュースレターでも隨時、情報を発信しておりますので、より情報ネットワーク工学科を知っていただければと思います。

学科長 江藤信一

ITエンジニアリングコースの紹介

情報ネットワーク工学科は令和8年度より現行の「ソフトウェアコース」「ハードウェアコース」を合併し「IT エンジニアリングコース」としてリニューアルします。このコースでは、ソフトウェア開発（スマートフォンやWebアプリ）から、ネットワーク、セキュリティ、エレクトロニクス分野（マイコンや組込み、IoT）といった、情報工学に関する幅広い内容を俯瞰的に学ぶことができます。



学生活動:ロボットコンテスト

NHK 学生ロボコンや九州夏ロボコンを目指し、情報ネットワーク工学科の他に、機械システム工学科や教育創造工学科の有志で構成・活動しています。情報ネットワーク工学科の学生は電子回路やプログラム開発の戦力として期待されています。大学で縦だけでなく横にも広い友好関係を築きたい方、メカトロニクス（機械・電子・情報工学の融合を表した言葉）関連の知識を高めたい方、一緒にものづくりをしましょう。初心者大歓迎です。



資格取得支援 情報セキュリティマネジメント試験

情報セキュリティマネジメント試験は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施している国家試験の1つです。この試験は、情報システムの利用部門にあって、情報セキュリティリーダーとして活躍できる知識を有していることを問うものです。

情報ネットワーク工学科では、プログラミングやコンピュータ・ネットワーク等に関する授業を通して、情報セキュリティに関する技術的なバックボーンを得られます。更に、情報セキュリティマネジメント試験に直接関係する講義として、「情報セキュリティ」を2年次に開講しています。

学生インタビュー

情報ネットワーク工学科 1年生

西澤 周輔君(屋久島おおぞら等校出身)

1.なぜこの学科を選びましたか？

小学生の頃からパソコンなどの情報機器に興味があり、以前オンラインゲームからウイルスに感染し、パソコンが使えなくなった経験からセキュリティ関係のソフトウェアについて興味を持つようになりました。

2.今どんなことを学んでいますか？

今は基礎的な数学や物理などからプログラミングやパソコンの内部の仕組みについて学んでいます。高校では物理を履修していましたが、一から学べるため理解を深められています。

3.将来どういう分野で活躍したいですか？

将来はセキュリティエンジニアになりたいと考えています。会社が被るウイルスによる無駄な過失を減らすため、現在発達してきているAIを取り入れたセキュリティソフトを開発していきたいと考えています。

4.来てよかったです、分かったこと

どの分野の授業でも基礎的な部分から始まるため、基礎的な知識が一切なくて、ただ触れてみたい、学んでみたいという方でも学びやすい環境になっている点がとても良いところだと感じています。プログラミングの授業では、学んだ知識をその場で課題の演習を行うことで知識として定着しやすく、とても学びやすい環境です。更に図書室には資格に関する参考書が多く、自分の将来の夢に必要な資格についても勉強しやすい環境だなと感じます。